

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		令和5年度 第3回 川西市総合計画審議会	
事務局(担当課)		企画財政部政策創造課	
開催日時		令和5年7月10日(月) 午後6時から	
開催場所		川西市役所4階 庁議室	
出席者	委員	上村 敏之、片山 優子、神谷 牧人、澁谷 和正、 新川 達郎、西中 哲郎、松浦 龍基、山本 利映 (敬称略)	
	その他		
	事務局	越田市長、作田企画財政部長、飯田企画財政部副部長、 稲治政策創造課長 他課員3名	
傍聴の可否		可	傍聴者数 9名
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第		次ページに記載	
会議結果		審議経過のとおり	

令和5年度 第3回川西市総合計画審議会 次第

日時：令和5年7月10日(月)
午後6時～

1. 開会

2. 議事

- (1) 第6次川西市総合計画 基本構想原案 【資料1】
- (2) 第6次川西市総合計画 基本計画（代表指標） 【資料2】
- (3) 第6次川西市総合計画 基本計画（小施策・指標） 【資料3】
- (4) 川西市総合計画審議会 答申案について 【資料4】

【参考資料】

- ・第6次川西市総合計画 基本計画 【資料3参考資料】

審 議 経 過

1. 開会

●新川会長（以下、会長）

令和5年度第3回川西市総合計画審議会を開会します。本日は伊藤委員と水野委員がご欠席です。

開会にあたり、越田市長からご挨拶をお願いします。

●越田市長（以下、市長）

本日もお集まりいただきありがとうございます。これまでの審議会や今日の議論も含め、「意見をもらって終わり」ということではなく、この場でのプロセスを大切にしながらより良い計画づくりを進めたいと考えております。本日も最後までよろしくお願いいたします。

●会長

ありがとうございます。

それでは本日の議事に進みます。事務局から説明をお願いします。

2. 議事

●事務局

【資料1】第6次川西市総合計画基本構想（原案）

（前回の指摘事項を中心に説明）

（2・3ページ）かわにしてこんなところ

- ・能勢電鉄の妙見線と日生中央線の区別をなくし、色を統一。

（6・7ページ）自治を育てる。川西市が「ジブンゴト」になる。

- ・6ページ文目の主語を補足。7ページ右下の「無理に市外からの人口流入を求めるのではなく、川西市に関わり、まちに愛着を持つ市民を増やすことに注力します」という部分を、より意味が伝わるような表現に置き換え。

【資料2】第6次川西市総合計画 基本計画（代表指標）

- ・総合計画の進捗を代表的に捉える「代表指標」として、「市民の幸せをはかる指標」「子どもの幸せをはかる指標」「市の心地よさをはかる指標」の3つを検討。

【資料3】第6次川西市総合計画 基本計画（小施策・指標）

（前回の指摘事項を中心に説明）

○小施策1【妊娠・出産・乳幼児支援】

- ・指標「子育てに自信が持てない親の割合」がネガティブな問いになっているため、置き換え

できないか。

→変更案として2つピックアップ。いずれか1つを追加指標として検討。

案1「ゆったりとした気分で、子供と過ごせる時間がある親の割合」

案2「育児について相談相手のいる親の割合」

○小施策3【教育保育】

・指標「学校園所において、子供たちの学びや育ちの状況を把握し支援している割合」がわかりづらい

→「支援」の例は、民間フリースクールや校内サポートルームなどであり、教室以外でも学習支援ができているか、という部分を確認するための指標。支援例を欄外に補足する形で対応予定。

・指標「『学習内容を理解している』と思う児童・生徒の割合」の目標値100%は高すぎるのでは。

→現場の先生方は「全ての子どもに理解してもらいたい」という思いで取り組んでおられ、その思いを表現する意味で100%を目標値としたい、との意向を教育委員会より確認している。

○小施策5【人権・ジェンダー平等・多文化共生】

・指標「人権侵害や差別を体験した・見聞きした市民の割合」がネガティブな問いで目立つなので置き換えできないか。

→適した指標が確認できなかったため、現行のまま進めたい。

○小施策6【社会教育】

・指標「公民館の利用率」について、想定している活用方法などがあればそれを盛り込んでどうか。

→指標を「社会教育施設の利用者数」に変更。公民館に限らず社会教育施設全体を対象に含めることとし、様々な用途での利用増を図っていきたい。

○小施策9【商工振興】

・指標「市内総生産額」について、人口減少などを踏まえた上で目標値を設定し直しては。

→個別計画である産業ビジョンの検討でも検討予定のため、目標値を「調整中」に変更。

○小施策12【地域防災】

・指標「ひょうご防災ネット（スマートフォンアプリ）登録者数」について、限定する理由がないのであれば、他の防災アプリ利用者と合算してはどうか。

→他に「ヤフー防災アプリ」等が考えられるが、数値非公表のため取扱いが難しいことが判明。したがって、現行の指標で進めたいと考えている。

○小施策18【障害福祉】

- ・「オーダーメイド支援プラン」の説明が必要では。

→補足を追記。

- ・精神疾患や難病の方も含まれていることを概要文で補足してはどうか。

→概要文にその旨を追記。以降の記述は「障がい者”等”」で統一。

○小施策19【高齢者福祉】

- ・指標「高齢者に占める要介護（要支援）認定者数の割合」が介護予防の観点を含んでいるのに対し、「市民とともにめざす未来像」にはその視点がないため、整合が必要では。

→未来像に「高齢者が自ら介護予防活動に取り組み、自立した生活ができている」を追加。

○小施策20【都市整備】

→元々設置していた指標「住み続けたいと思う市民の割合」を代表指標で採用するため、「『生活環境が整ったまちだ』と思う市民の割合」に変更予定。

○小施策23【公共交通】

- ・モビリティマネジメントの説明が分かりづらい。

→国交省の説明文を参考に置き換え。

- ・指標「川西能勢口駅の乗降客数」について、今後の見通しを立てるのが難しいのでは。

→本市にとって中心的な駅でもあるため、指標自体は残したい。なお、目標値については調整中。

○小施策28【参画・協働】

- ・指標「参画の取り組みをおこなったことがある市民の割合」について、参画の取り組み例としてはパブリックコメントよりもタウンミーティングの参加者数などが分かりやすいのでは。

→「参画の取り組み」の具体例を欄外に補足する形で対応。

○小施策31【ICT推進】

- ・指標「行政手続きのオンライン化」について、オンライン化後の利用実績を把握することも重要では。

→指標「電子申請システムによる申請件数」を追加。

説明は以上となります。

●会長

それでは、各委員からご意見等をお願いします。

●山本委員

・代表指標について

子どもを第一に、という姿勢はとても良いと思います。ただ、資料の絵からは子ども・子育て世帯に偏った印象を受けたので、そのあたりのイメージは調整いただければと思います。

・小施策2【人権・ジェンダー平等・多文化共生】

指標「人権侵害や差別を体験した・見聞きした市民の割合」について、どうしてもネガティブな内容が目立ってしまうので、これを残す場合であっても、プラスになるような指標を追加してはどうでしょうか。

●会長

「子どもの幸せをはかる指標」は、最初に持ってこなくて大丈夫ですか。

●事務局

会長が仰るとおり、一番目に移したいと思います。なお、代表指標のイラストは案として入れておりますが、今後の作業ではご指摘の部分に注意いたします。

小施策2の指標ですが、確かにマイナスイメージを持たれる内容ですので、前向きな指標についても検討します。

●上村委員

・私たちが大切にしたい思いー4つの基本姿勢ー

この基本姿勢の主体は、市役所だけではなく、あくまで市民を含めた「私たち」。主語がとても重要だと思うので、各説明の結びの文を「私たちは、」で始めてはどうでしょうか。

●会長

4つの基本姿勢の「私たち」という部分をきちんと押し出しては、というご提案でした。主旨が明確になるだけで中身は変わらないはずですので、事務局で調整をお願いします。

ご説明のあった修正案を元にして、私どもの最終的な結論にしたいと思いますが、皆さまよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり。)

最後に、川西市総合計画審議会の答申案について事務局からご説明をお願いします。

●事務局

【資料4】川西市総合計画審議会 答申案について

本審議会でのこれまでの議論を経て、市長に対し最終的に「答申」をいただく必要がございます。具体的なイメージとしては、本日お示しした基本構想原案並びに基本計画原案が、まさ

にこれまでの議論を経た結果であるものと捉え、それらを答申という形でいただけたら、と考えております。

加えて、「本計画の推進にあたっては、社会情勢等の変化に柔軟に対応するものとし、進捗を毎年確認するとともに、必要な見直しを行うこと」「各個別計画の策定においては、本計画の内容を踏まえ、十分に整合を図ること」を付記させていただければ、と考えております。

説明は以上です。

●会長

ただいまご説明いただいたように、今回、基本構想原案並びに基本計画原案を別添資料として、答申としたいと思います。各委員、この内容について何かご意見はありますか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり。)

それでは、川西市総合計画審議会規則第2条の規定により、令和3年10月28日付で諮問のありました第6次総合計画の策定について、次のとおり答申いたします。

—答申—

ようやく、私の出番も無事に終わることができました。皆さまありがとうございました。市長さんには私どもの期待を全部背負っていただくことになりそうですが、それも役割ということで、しっかり受け止めていただければと思います。

それでは、以上をもちまして私の出番を終え、事務局にお返しします。

●事務局

ありがとうございました。

それでは、最後に越田市長よりご挨拶申し上げます。

●市長

新川会長をはじめ委員の皆さま方には、3年間にわたりご協力いただいたことに、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

最後の最後までご意見やご提案をいただいたのも、お一人ひとりがまさに「ジブンゴト」として関わってくださったことの表れではないかと思っております。あらためて、このメンバーに審議会をお願いしてよかったなと感じております。

審議会初日、神谷委員の「まずは市長の思いを伝えてほしい」というお話から始まった結果、まさか全ての回に出席するとは私も当初思っておりませんでした。その意味でも、川西市スタイルの審議会ができたかなと思います。

今後の我々の手続きとして、パブリックコメントや議会での議決を経ながら、令和6年度からしっかりとスタートできるように取り組む必要があります。また、つくって終わりではな

く、今後8年間、皆さんと一緒に進めていく計画にしたいと思いますので、引き続き、いろいろな形でご支援ください。

3年間にわたり、皆様から温かいお力をいただきましたことにあらためてお礼を申し上げ、私からのご挨拶といたします。ありがとうございました。

●事務局

以上をもちまして、令和5年度第3回総合計画審議会を終了します。ありがとうございました。